

戦死証明書

一 本籍地

一 所属部隊
一 官等氏名
一 留所相違者
一 現住所氏名

一 戦死時状況

一 戦死場所

一 戦死年月日時

一 戦死原因

一 戦死後

一 遺体

一 石規

一 遺品

一 遺族

一 署名

6-12

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

官氏名

死亡場所

死亡區分

死亡日時

死亡傷(病)名

留守擔當者住所

續柄氏名

右證明する

昭和二十二年

現認者住所

元所屬官氏名

今右

マシラ航空廠 威一五五二部隊

一號名 (死亡前)

比島北郡比島アリタ才街 送方三峰

戦死

昭二〇. 6. 1 日頃

マシラマ脚兼一

本籍地と同じ

父

三月五日

威一五三二部隊 隊員 佐長

(L)

6-11

戦歿者確認(證明)書

一、死者所属部隊名(通稱) 成軍第一〇二〇部隊
 一、死亡年月日 昭和二十一年 夜 捕虜先 法 歩兵
 一、官位(死後) 一等兵 (死後)
 一、氏名 [Redacted] 日生 [Redacted]
 一、死歿場所 [Redacted]
 一、死亡区分(事由) エラ東方面ハシラセ
 一、死歿年月日時 昭和二十一年 一月 一日 不詳
 一、死歿者本籍地留守遺族者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 年 月 日

元所属部隊名 成軍第一〇二〇部隊

現任所 [Redacted]

元官位 陸軍少長

氏名印 [Redacted]

註 死亡理由、場所ハナルベクシテニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲ
クツシク告知ラセ下サイ

宛 先 [Redacted]

地方世話部慰恤係

死亡者認認

<p>本籍地 本籍地と同じ</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>
<p>見本</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>	<p>昭和二十二年六月一日</p>

方の通り認認

昭和二十二年六月一日

136-12

現認證明書

39-10

本籍地

現住所

氏名

所屬部隊

官等級

徵集役種

死亡年月日

死亡場所

死亡区介

死亡事由

現認事

遺骨の有無

遺族現在所續柄名

右相違

現認者官等級

所屬部隊

昭和二十年六月八日

[Redacted]

今

[Redacted]

陸軍第一師團

陸軍少佐

昭和二十年六月一日

信州山根陣地

戦死

戦死

昭和二十年六月一日

昭和二十年六月一日

亡

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

死亡現認書				昭和	年	月	日
死者	本籍地	[Redacted]					
	現住所	右 全					
	所属部隊名	第六師團野砲第六聯隊 (威四七三) 部隊					
	官等、級氏名	陸軍 少科見習士官 [Redacted]					
	死亡年月日時	昭和二十五年六月				(確度 甲)	
	死亡場所	比島 イ赤 (ミラ東北交)				(確度 甲)	
死亡要分	戦死	死亡事由	砲撃破砕中創				
	病死	病死年月日					
遺骨、遺留品の状況	なし						

右現認す

現認者 本籍地 [Redacted]
 現住所 [Redacted]

死没者との關係 同期生

所属部隊 第六師團野砲第六聯隊 (威四七三八部隊)

知職官氏名印 陸軍少尉 [Redacted]

記載上の注意

1. 階級は甲(確實)、乙(概ね確實)、丙(疑はしきもの)の区分で記入する
2. 死亡事由欄には何々貫通銃創、或はマラリア、コレラ等の病名を記入する
3. 死没者との關係は中、小隊長、分隊長、職名を記入する

死亡証書明書

本籍地	[Redacted]		
所属部隊固有名	羽衣	通稱	第九二四部隊
階級	現役	氏名	飛行兵 羽衣 [Redacted]
死亡年月日	昭和三十年	死亡場所	九州 [Redacted]
死亡時刻	六月五日	死亡原因	戦死
死亡の要否	不明	遺留品	なし
死状	別紙証明書参照		

12-13

右の通り相違なきことを証明する。

昭和 年 月 日

本籍地
(現住所)
所属部隊
階級氏名印

通書明証書

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 或美田六〇七部隊 (七八兵站)
- 一、徵集年 昭和十八年 被征 美田六〇七部隊 衛生兵
- 一、官等(死後別) 一等兵(死後)
- 一、氏名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生
- 一、死歿場所(比喩) [Redacted] 大岡山附近
- 一、死亡區分(事由) 昭和十八年三月二十一日 敵機襲撃 同日三月二十一日 敵機襲撃 死亡
- 一、死歿年月日時間 昭和十八年六月二十一日 不詳 時
- 一、死歿者本籍地(留付) 留付

右確認(證明)ス

昭和十八年三月二十一日 元所属部隊名 或美田六〇七部隊

現住所 [Redacted]

元官等級 [Redacted]

氏名印 [Redacted]

註 死亡理由、場所ハナルベククシテ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナシク者ハソノ前後ヲクワシテ告知ラセテ下サイ

秘 先

地方世話部慰恤係

姓名	職名	死因	死時	死所	備考

死亡者現認證明書

昭和 〇 年 〇 月 〇 日
 民生部第一世話課
 〇 〇 〇 〇 〇 〇

本籍地	所屬部隊	固有名	野戦船本隊	通稱號	昭和 〇 年 〇 月 〇 日	氏名	〇 〇 〇 〇 〇 〇	死亡年月日時	昭和 20 年 6 月 3 日	死亡區分	戦死	死亡事由	マラリア	遺骨、遺留品の有無	遺族承認の有無	現住所	〇 〇 〇 〇 〇 〇	留守者	妻	氏名	〇 〇 〇 〇 〇 〇	所屬部隊	陸軍第六師団	官等	上等兵	氏名印	〇 〇 〇 〇 〇 〇	上陸年月日	昭和 20 年 12 月 3 日	上陸地名	神戶	現住所	〇 〇 〇 〇 〇 〇

現 認 證 明 書

地方世

昭和 22年 4月 2日	右現認證明致します		死者との 係の關	死亡當時の 状況	死者	亡	死	所屬部隊 本籍地
	東部十二部隊入隊以来の戦友なり		昭和二十二年三月三日、本籍地（千葉県）にて戦死	昭和二十二年三月三日、本籍地（千葉県）にて戦死	戦死	昭和二十二年三月三日、本籍地（千葉県）にて戦死	戦死	戦死
現認者		本籍	現住所	死亡年月日時	死亡場所	死亡事由	死亡階級	氏名
官等氏名	所屬部隊	陸軍中尉	同	昭和二十二年三月三日、本籍地（千葉県）にて戦死	本籍地（千葉県）にて戦死	戦死	戦死	戦死

大川給

45-10

三
二

環

認

書

本籍地

都隊名之ヲ派定

定等氏名

七年
月日

昭和二十一年
五月四日

北都ルソノ島
ハレテ

戦死

死
理由

死
理由

右
現認

本籍地

都隊名
馬尼刺陸隊航空隊部

定等氏名

死亡現認證明書

現認者	現認		死亡		死亡		死亡					
	現住	前	現認事由	證明年月日	所屬部隊名	官軍姓氏名	本籍地	死亡年月日	死亡区分	死亡場所	傷病名	遺棄遺品状況
			陸軍伍長	昭和二十一年二月十一日	第一二二七部隊	陸軍兵長		昭和二十年六月四日	戦死	ルソン島マニラアリタオ野戦病院	大腸炎	

本證明書は三要件を具備する。死亡者官軍等は死亡原因の階級を記載し、死亡後遺品を判明せる時はその階級を記載する。現認事由は階級を詳細に記載する。死亡区分は戦死、戦傷死、戦病死、不慮死、公病死、自死、他原因死等がある。

39-10

事官 證明頭記書

本籍地

所屬隊 戰車 撃滅隊

(通稱名)

役種徵集庫現地勤務 昭和七年徵集

官氏名 陸軍 兵科 見習士官

右者 自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日 間

昭和二十年 五月 卅日 比島北野ニ於テ多クノ業務ニ罹病シ

昭和二十年 六月 卅日 比島北野ニ於テ戰病死ニタル事

證明頭記書

昭和二十二年 一月 卅日

調製官

陸軍 衛生 少尉

1-10

打

遠

春

眞正所
所部

敵

樹

す

平

外

計

式

入
由

由
權

由
位

マレ
マ
マ

分

戦死

由

十

死亡

所

比島

由

即死

年月日時

昭六

由

自働

知

昭六

予備

歩

上

兵

一〇六六

昭六

予備

歩

上

兵

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戶主名續柄

戶主

長男

氏名

年 月 日生

二、所屬 固有部隊名
通稱部隊號

比島

派遣

威第一五三二部隊

再尼刺航空廠

三、戰死者徵集年

昭和七年

役種現役

兵種

死亡前官等級

陸軍

昭和七年三月一日

四、戰死年月日時刻及場所

昭和七年六月五日

時刻

不明

多市南多

五、戰死現認ノ程度

白骨見

遺骸ノ氏名

不明

確定

六、遺骨歸還ノ有無

有

無

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

斬込隊

參加

歸途

敵陣

三

8-12

昭和二十一年十月三十日

症ノ者ハ「三シタナオ」島ニテ戦斗中部隊行進不可能トナ
リ以後續行中「シラワイ」所約東南十五料地ニ共ニテ
米軍ト戦斗中胸部貫通ヲ受ケテ昭和二十一年十月五
日午後一時三十分頃死去セラレタル事ヲ証明ス

昭和二十一年十月三十日

威第一七六。一部隊

陸軍上等兵

復員後 鉄道従業員

の 考 察 の 現 状	死亡考との関係	同中隊同分隊
	若の親動親報する	
現 在 所	部隊名	建勤三上
	個名	四八三九
の 着 目	戦死の状況	敵打行動中
	戦死の場所	昭和三年五月五日アリアウ
死 亡 の 原 因	戦死の状況	敵打行動中
	戦死の場所	昭和三年五月五日アリアウ
死 亡 の 日 期	死亡の年月日	昭和三年五月五日
	死亡の場所	アリアウ
死 亡 の 氏 名	官等氏名	上等兵
	通称	
本 隊 編	部隊名	建勤三上
	個名	四八三九

97-11

///

戦死者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 陸軍 〇〇〇〇 〇〇〇
- 二、徵集年 昭和 〇〇 年 〇 月 〇 日
- 三、官等(死歿前) 大尉 (死歿後)
- 四、氏名 [Redacted]
- 五、死歿場所 [Redacted]
- 六、死亡区分(事由) [Redacted]
- 七、死歿年月日時 昭和 〇〇 年 〇 月 〇 日 〇 時
- 八、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 〇〇 年 〇 月 〇 日

元所属部隊名 [Redacted]

現住所 [Redacted]

元官等職 [Redacted]

氏名印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベクツシク特ニ終戦後ノ死亡ニ明知ニ生死不明ニナシテ者ハソノ前後ヲ
クツシク告知ラセテ下サイ

宛先

地方世話部慰恤係